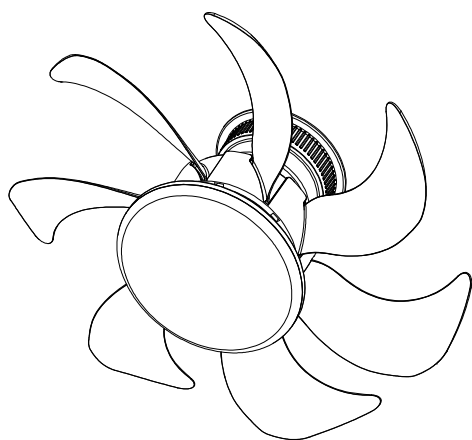


サーキュライト シーリングファン ウイングシリーズ
DCC-G06CM / DCC-G08CM / DCC-G08CML / DCC-G08CMK
ACC-G06CM / ACC-G08CM / ACC-G08CML / ACC-G08CMK
KCC-G06CM / KCC-G08CM / KCC-G08CML / KCC-G08CMK

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P.1~P.2
各部の名称とはたらき	P.3
使用前の準備	P.4
組み立て・設置	P.5~P.10
正しい使いかた	P.11~P.14
お手入れと保存	P.15
修理・サービスを依頼する前に	P.16~P.17
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	P.17
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様

品名		サーキュライト シーリングファン ウイングシリーズ		
型名		DCC-G06CM	DCC-G08CM / DCC-G08CML	DCC-G08CMK
		ACC-G06CM	ACC-G08CM / ACC-G08CML	ACC-G08CMK
		KCC-G06CM	KCC-G08CM / KCC-G08CML	KCC-G08CMK
電源		AC100V 50/60Hz		
LED ライト部	定格消費電力	約25W (100%点灯時)	約30W (100%点灯時)	
	器具光束	約3200lm (ルーメン) (100%点灯時)	約3800lm (ルーメン) (100%点灯時)	約3600lm (ルーメン) (100%点灯時)
	機能	調光7段階、調色5段階、常夜灯2段階		
ファン部	定格消費電力	約13W (風量最大時)		
	機能	風量6段階+ターボ、正逆回転切替、リズム、オフタイマー		
推奨使用周囲温度		0～40℃		
外形寸法		(約) φ600 mm × 225 mm (引掛刃は除く)		
本体質量		約3.2kg		
付属品		リモコン(DCC-MEC2)×1、リモコン用単4形乾電池(お試用)×2、リモコンケース×1、 リモコンケース取付用ネジ×2、羽根×7、取扱説明書・保証書×1 羽根取付用ネジ(予備1本含む)×8		

- LED光源など部品の交換はできません。
- LED光源にはバラストがあるため、同じ型名の製品であっても発光色、明るさが異なる場合がございますのでご了承ください。
- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 取扱説明書に使用されているイラストと実際の製品は一部異なる場合があります。

B2506A

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V 以外では使用しない。 直流電源では使用しないでください。 破損・発煙・火災・感電の原因になります。	 禁止	湿度の多い風呂場などでは使用しない。 水滴がかかる場所では使用しない。 感電・火災の原因になります。	 指示	調光機能のついた電源(壁スイッチなど)は使用することができないので、電気工事士資格取得者に交換工事を依頼する。 そのまま使用すると火災・故障の原因になります。 工事は販売店・工事店などに相談してください。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		配線器具が傷んだり、差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		引掛シーリングは奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・火災・落下の原因になります。
	取り付けできない配線器具には無理に取り付けない。 〈取り付けできない配線器具〉 ・電源端子が露出しているもの ・破損しているもの ・取り付けが不十分でグラグラするもの 火災・感電・落下してけがの原因になります。	 使用禁止	幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		本体の取りはずしには必ず引掛シーリングのリリースボタンを押す。 破損・感電の原因になります。
	屋内専用なので、屋外では使用しない。 器具周囲温度0～40℃の範囲内で使用してください。 火災・感電の原因になります。		異常時(こげ臭い、発煙など)はすぐに電源を切るか、本体を取りはずす。 火災・感電の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人には修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店にご相談ください。
	調光機能付の電球機器や回路、非常用照明器具、HIDランプ(高輝度放電灯)器具での使用をしない。 破損・発煙の原因になります。	 指示	取り付け・取りはずしをするときは必ず電源を切って行なう。 けが・故障の原因になります。		ぬれた手で、本体・引掛シーリング部分の取り付け・取りはずしをしない。 感電の原因になります。
	本体に布や紙をかけたり、おおったり、熱のこもる使いかた、燃えやすいものを近づけたりをしない。 火災・故障の原因になります。		引掛シーリングにホコリが付着している場合は拭きとる。 ホコリが付着したまま差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止
ストーブなど温度の高くなるものを近く・真下に置かない。 火災・故障の原因になります。			リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う原因になります。		

注意

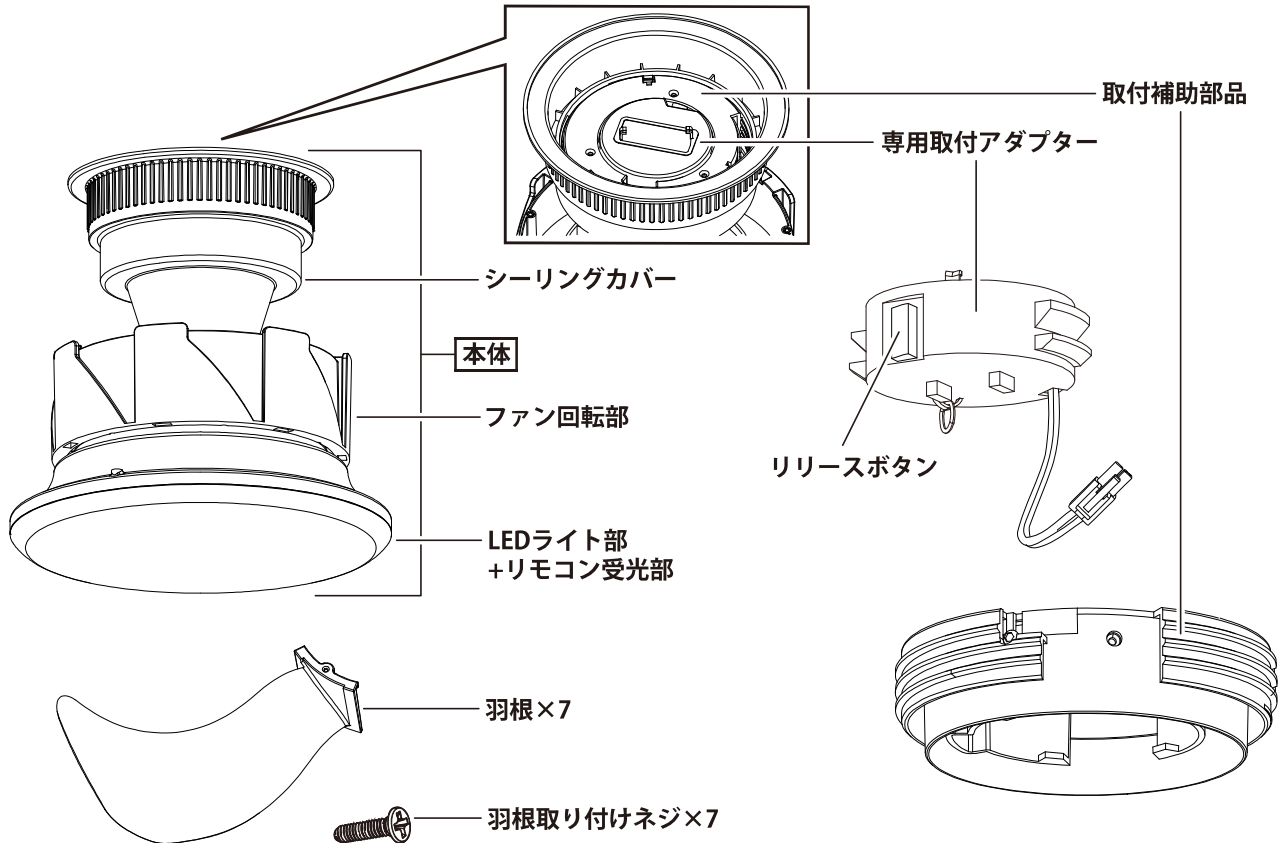
 指示	器具で指定されたワット数などを守り、確実に取り付け器具に取り付ける。 熱を持ったり、故障、落下の原因になります。	 禁止	リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。	 禁止	開放型器具・風の通りの悪い密閉型器具に絶対に取り付けない。 本機の引掛シーリングにはロック機能があるため、取りはずしができなくなることがあります。 風が十分に送られず、熱がこもり、故障の原因になります。
	被照射物との距離は1m以上あける。 色あせ・変色の原因になります。		リモコンの電池は直射日光のあたる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂、火災などの原因になります。		風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。
	使用場所によっては、天井や壁紙などに悪影響を与えるので注意する。 連続照射・連続する風の流れの影響を考えて設置してください。		ものをぶつけたり、衝撃を与えない。 けが、やけどの原因になります。		髪を羽根に近づけない。 髪が巻き込まれ、けがをする原因になります。
	設置して長時間使用すると、外部に異常がなくても内部の劣化は進行するので、点検する。 点検せずに使用を続けると、火災、落下による感電、けがの原因になります。		点灯中や点灯直後は熱くなっているため、器具に触れない。 やけどの原因になります。		次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。
	リモコンの電池は⊕ ⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや、破裂の原因になります。		本製品の一部分が破損した場合そのまま使用を続けない。また破損した部分に直接触れたりしない。 けが・やけど、落下の原因になります。		お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜く。 長期間入れたままにしておくと、液もれによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		ラジオやテレビなどの音響機器・映像機器を近くで使用しない。 雑音の原因になることがあります。 使用する場合はできるだけ離して使用するようにしてください。		
	リモコンを廃棄するとき、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。		LEDの光を直視しない。 目に悪影響をおよぼす原因になります。		
			動作中の羽根に触れない。 けがの原因になります。		

使用する前に／ご使用上の注意

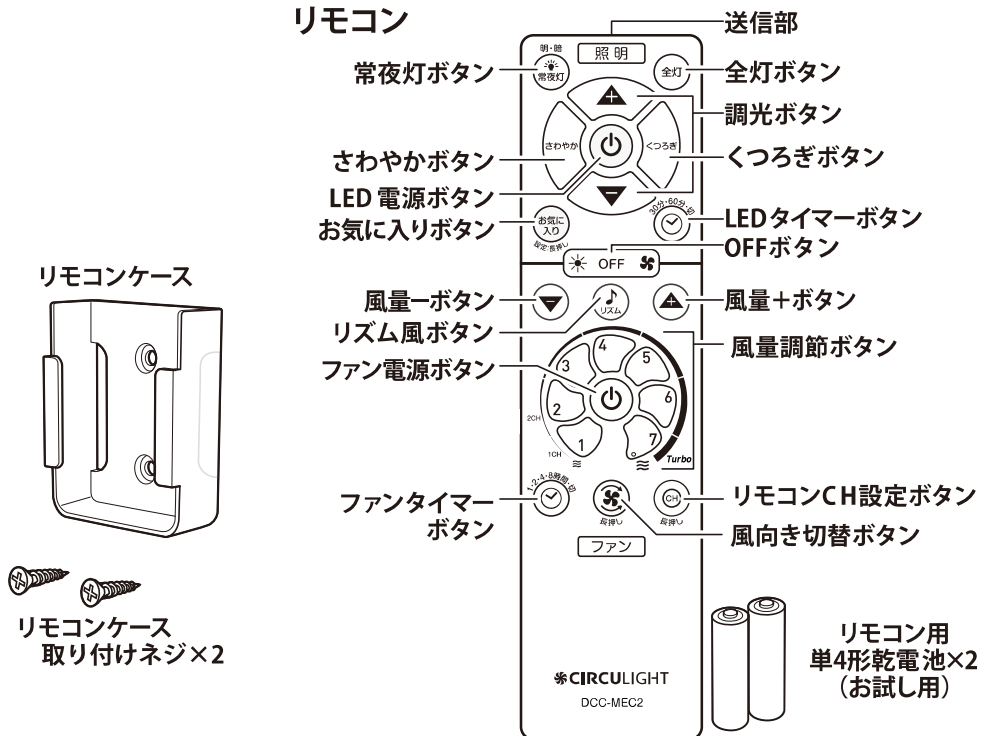
- 以下の器具には絶対に使用しないでください。
 - ・調光のついた照明器具や回路。【調光:明るさを変える機能】(製品が故障したりチラツいたりする場合があります)100%点灯でも使用不可。
 - ・誘導灯・非常用照明器具。
 - ・屋外用器具。
 - ・風呂場などの湿気の多い場所、水滴などがかる場所。
 - ・このほかの使用器具の種類によって寸法的、熱的、その他の状況により使用できない場合があります。
- 本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 本製品の周囲温度が40℃を超える場所では使用しないでください(推奨使用周囲温度は0～40℃です)。
- 酸、硫黄などの腐食性雰囲気(温泉地など)のところでは使用はしないでください(漏電・落下・取付引掛部品腐食の原因)。

- 直流電源では絶対に使用しないでください(AC100V・周波数50Hz、60Hz以外の電源では使用しないでください)。
- 当社製品以外のリモコンが付いた照明器具や回路でご使用される場合、正常に動作しない場合があります。
- 赤外線リモコンを採用した機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯しますと、リモコンが誤作動することがあります。
- 水洗いや分解、改造はしないでください。LED光源のみの交換はできません。
- LEDライト部を直視しないでください。目に悪影響をおよぼす恐れがあります。
- LED光源にはパラツキがあるため、同じ型名の製品であっても発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 人感スイッチなどの自動点滅装置や遅れ停止スイッチなどには使用できません。

各部の名称とはたらき



リモコン



リモコン型番：DCC-MEC2

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1台	リモコンケース	1個
羽根	7枚	リモコンケース取り付けネジ	2本
羽根取り付けネジ(予備 1 本含む)	8本	リモコン用単4形乾電池 (お試し用)	2本
リモコン	1個	取扱説明書 (保証書含む)	1部

リモコンの準備

下記の手順で付属の電池 (単4形乾電池) を入れてください。

1. リモコン裏の電池ぶたを開く

電池ぶたの「OPEN」部分を押しながら手前の方
方向へスライドさせて開きます。

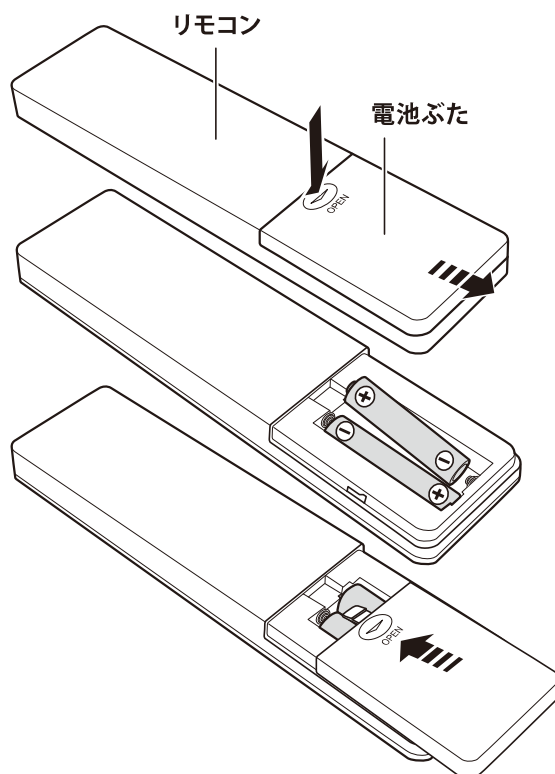
2. ⊕と⊖の向きに注意して、電池を入れる

電池ぶたをはずして、電池を入れてください。

3. 電池ぶたを閉める

電池ぶたを右図の矢印の方向へスライドさせて
閉めます。カチッと音がするまで押し込んでく
ださい。

- ・リモコンと本体の受信部の間に障害物がある場合
は、リモコンが正常に動作しないことがあります。



使用可能範囲

- ・本体リモコン受光部正面から直線で約3m以内
 - ・本体リモコン受光部正面から左右に約30度以内
- ※リモコンと本体リモコン受光部(LEDライト部)の間に障害
物があると、リモコンが正常に動作しないことがあります。



注意

- ・長期間使わないときは電池を取りはずす。
- ・⊕⊖を正しく入れる。
- ・種類の異なる電池や新旧の電池を混ぜ
て使用しない。
- ・電池の充電・ショート・分解・火への投
入・加熱などはいしない。
- ・万一、液もれが起こったときは、よくふき
取ってから新しい電池を入れる。



注意

- ・電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与え
ないでください。
- ・電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。
- ・新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の
異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ニッケル系乾電池 (オキシライド乾電池など) は絶対に
使用しないでください。
- ・充電式 (ニカド・ニッケル水素など) 電池を使用します
と、機器が持っている性能を発揮できないことがありま
す。(機器が誤作動するなど)
- ・電池の消耗により正常に作動しない場合があります。そ
の際には新しい電池と交換してください。
- ・電池に表示されている使用推奨期間内に使用してくだ
さい。



警告

- ・電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、
電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- ・電池のアルカリ液が目に入ったときは失明など障害のお
それがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流
し、医師の治療を受けてください。
- ・電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしないでくだ
さい。
- ・電池の(+) (−) を逆にして使用しないでください。
- ・電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、す
ぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
- ・電池の(+) (−) を針金などで接続したり、金属製のネックレ
スやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保存しないでく
ださい。
- ・付属の電池は充電式につくられていません。充電すると
液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- ・使い切った電池はすぐ機器から取り出してください。
- ・長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り
出してください。電池を入れたままにしておくと液漏れが
あり危険です。

組み立て・設置

取り付け環境の確認



警告

配線器具への取り付け・取りはずしや、お手入れをするときは、必ず壁スイッチを切って行なう。

1. 取り付ける天井の状態を確認する

右図[取り付けることのできない天井]のような天井になっていないことを確認してください。

2. 取り付ける天井についている配線器具を確認する

天井に右図[取り付けることのできる配線器具]のような配線器具が設置されていれば、取り付けることができます。

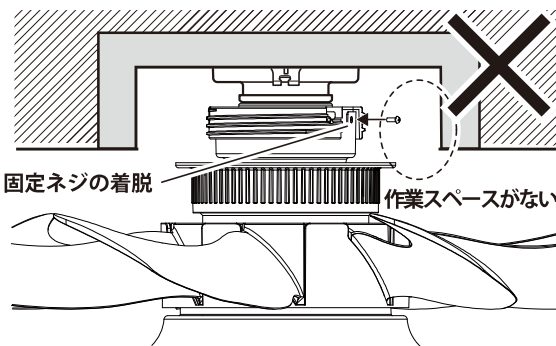
ただし、配線器具が以下のようなものである場合は取り付けできません。

取り付けできない配線器具

- ・電源端子が露出しているもの
- ・破損しているもの
- ・取り付けが不十分でグラグラするもの
- ・ケースウェイに取り付けてあるもの
- ・配線だけのもの
- ・出しろが少ないもの（埋込ローゼット／10mm以下、引掛シーリング／21mm以下）

・配線器具が設置されていない場合や、取り付けできない配線器具でも交換により取り付けできる場合がありますので、販売店・工事店にご相談ください。

取付補助部品に本体を固定するネジを着脱作業に必要なスペースがあるか確認する。



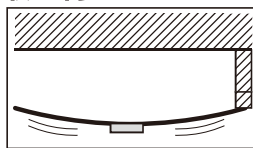
- ・下向きの開放型器具に取り付けることはできません。
- ・密閉型器具、密閉型に近い器具、断熱材施工器具は使用できません。



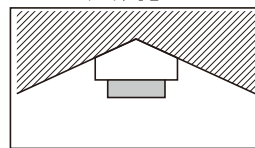
注意

- ・開放型器具・密閉型器具には、絶対に取り付けない。引掛シーリングにロック機能があるため、取りはずしができなくなります。
- ・相応の脚立などを使用して取り付け。本体を目の前で回して取り付ける程度の高さで取り付け・取りはずしを行なうようにしてください。

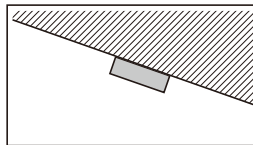
[取り付けることのできない天井]



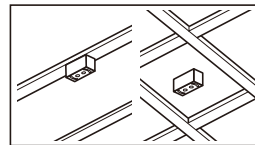
たわむ天井 補強のない天井



船底天井



傾斜した天井

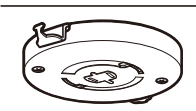


竿縁天井 格子天井

[取り付けることのできる配線器具]

出しろ11 mm

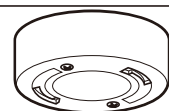
出しろ22 mm



引掛埋込ローゼット



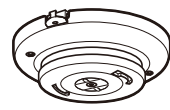
丸型フル引掛シーリング



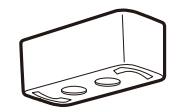
丸型引掛シーリング



引掛埋込ローゼット (ハンガーなし)



丸型フル引掛ローゼット

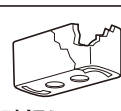


角型引掛シーリング

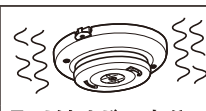
[取り付けできない配線器具]



電源端子が露出しているもの



破損しているもの



取り付けが不十分でグラグラするもの



配線だけのもの



ケースウェイに取り付けてあるもの



出しろについて



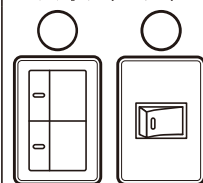
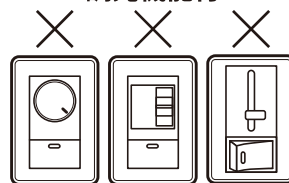
天井 出しろ (配線器具)

3. 取り付ける電源（壁スイッチなど）に調光機能がないことを確認する

調光機能のついた電源（壁スイッチなど）の場合（100%のまま入切でも）、使用できません（販売店・工事店にご相談ください）。

調光機能付

スイッチのみ



※ 上記イラストのようなスイッチ以外にも、調光機能の付いたスイッチは使用できません。

4. 周囲の環境を確認する

以下の場所には設置できません。

- 湿度の高い場所 水がかかる場所 結露の発生する場所 屋外
- 直射日光のあたる場所 火や熱源に近いところ
- リモコン発信場所から3m以上ある場所
→ 正しく操作できません。



警告

お客様自身で取り付ける場合は、重量物のため必ず2人以上で作業する。



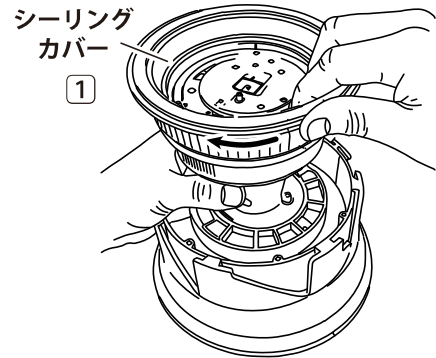
注意

羽根やファン回転部を持って作業しないでください、破損や回転不良の原因になります。

本体取り付けの準備

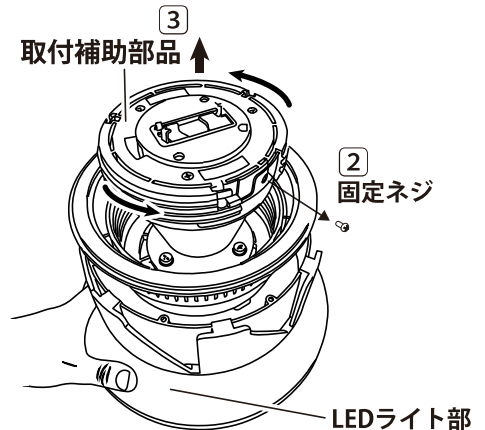
シーリングカバーの取り外し

1. 右図のようにシーリングカバーを右(時計)方向に回し続けて、本体に固定された取付補助部品から外す①
- シーリングカバーは本体から外すことはできません。



固定ネジの取り外し

2. 本体と取付補助部品を固定しているネジを取り外す②
- 外した固定ネジは設置作業で使用します。なくさないようにご注意ください。

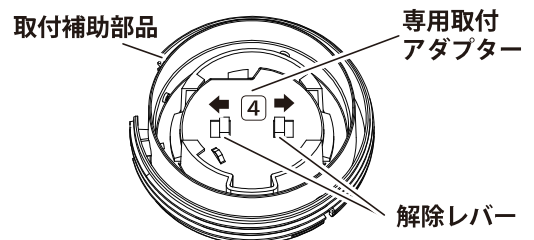


取付補助部品の取り外し

3. 取付補助部品を左(反時計)方向に回してから上に動かし本体から取り外す③
- 右図のように、LEDライト部が同時に回転しないよう、手で支えてください。

専用取付アダプターの取り外し

4. 解除レバーを矢印の方向に動かして専用取付アダプターを取付補助部品から取り外す④

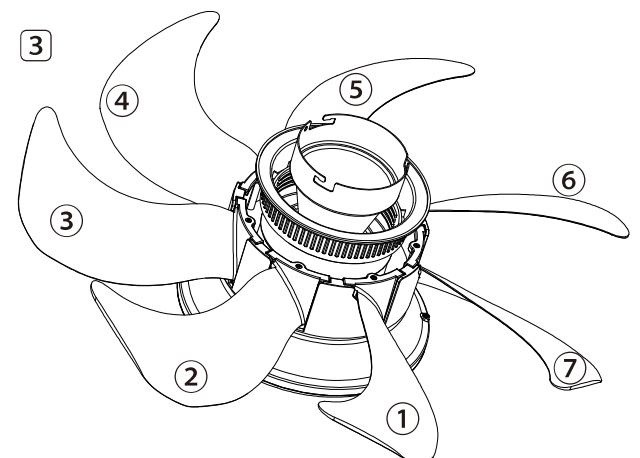
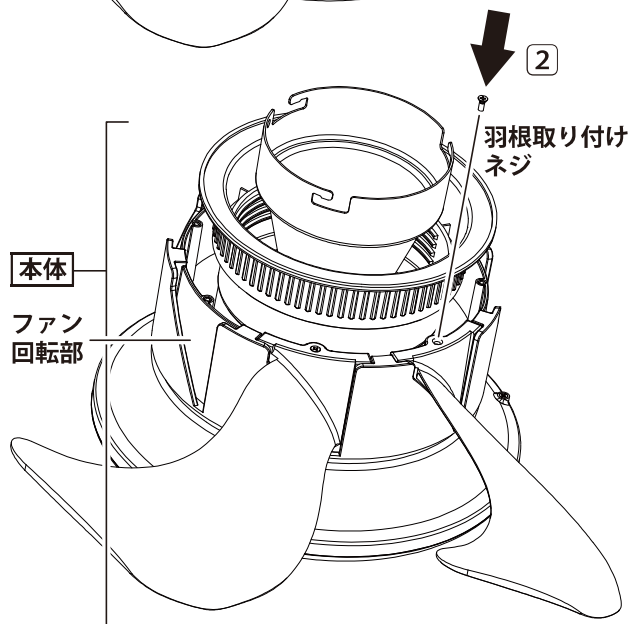
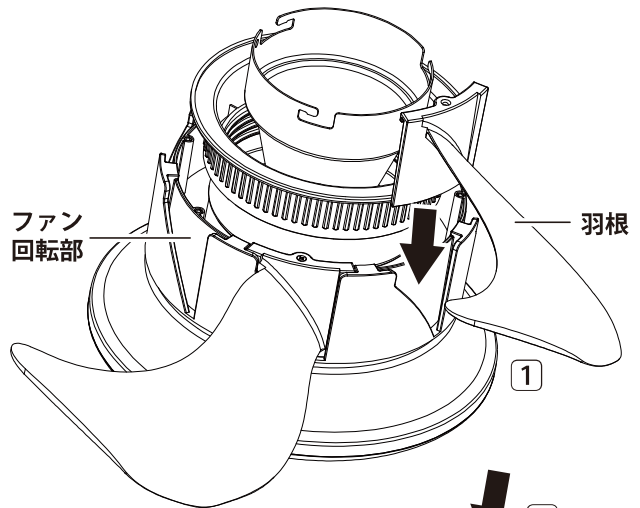


組み立て・設置(つづき)

羽根の取り付け

1. 羽根をファン回転部のみぞに合わせて奥まで差し込む①
2. 羽根取り付けネジで羽根をファン回転部に固定する②
3. 羽根は7枚、全て取り付ける③

- 全てのネジと羽根にゆるみやガタつきがないか確認してください。



配線器具への取り付け

⚠ 警告	配線器具への取り付けは、必ず付属の専用取付アダプターを使用してください。
⚠ 警告	配線器具への取り付け・取りはずしや、お手入れをするときは、必ず壁スイッチを切って行なう。
⚠ 警告	お客様自身で取り付ける場合は、重量物のため必ず2人以上で作業する。

1. 壁スイッチが切になっていることを確認する

・専用取付アダプターの取り付け

2. 専用取付アダプターの引掛刃を、天井の配線器具へ差し込み①、専用取付アダプターを右(時計)方向に回して②配線器具へ取り付ける

- ・専用取付アダプターのリリースボタンが「カチッ」というのを確認ください。
- ・やりなおし、取り外す場合はリリースボタンを押しながら左(反時計)方向に回してください。

⚠ 注意	・強く回しすぎると配線器具の破損の原因になります。 ・右回転させて回らなくなったら回転をやめてください、無理に回すと配線器具の破損の原因になります。
-------------	---

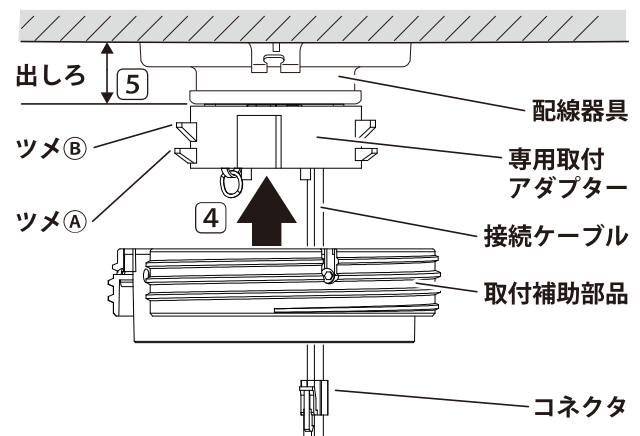
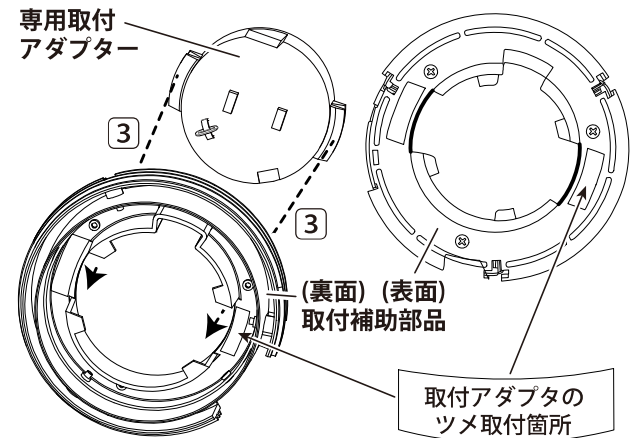
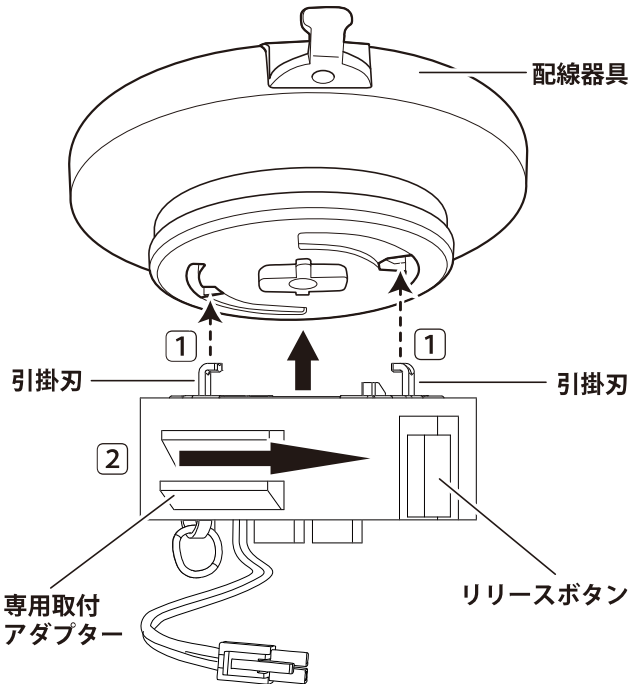
・取付補助部品の取り付け

3. 専用取付アダプターのツメの位置と取付補助部品のツメの掛かる位置を合わせて③、天井の配線器具に取り付けられた専用取付アダプターに取付補助部品を取り付ける④

- ・出し⑤の長さが11mm、22mm どちらの場合でも、ツメ⑥に取付補助部品を取り付けてください。
- ・接続ケーブルとコネクタは取付補助部品に通します。
- ・専用取付アダプターのツメが取付補助部品に掛かっていることを確認してください。
 - ・ツメが広がり確実に掛かっていること
 - ・取付補助部品を軽く上下させ抜けないこと
 - ・取付補助部品を軽く回転させ回らないこと
- ・やりなおし、取り外す方法はP.6の4を参照。

天井に固定された配線器具をご使用ください。

(配線器具)
※付属されていません



組み立て・設置(つづき)

配線器具への取り付け(つづき)

・カラビナの接続

4. 本体から出ているカラビナ①を天井に取り付けた専用取付アダプターのリング②に取り付ける③

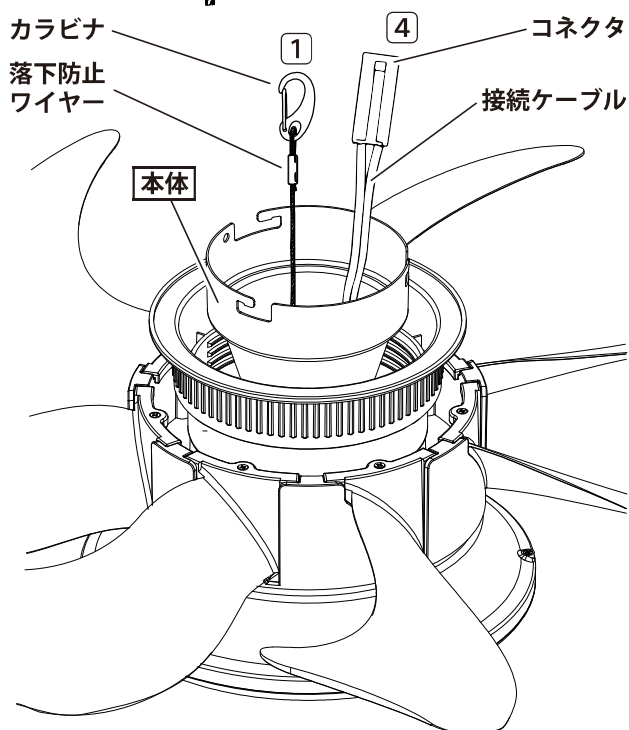
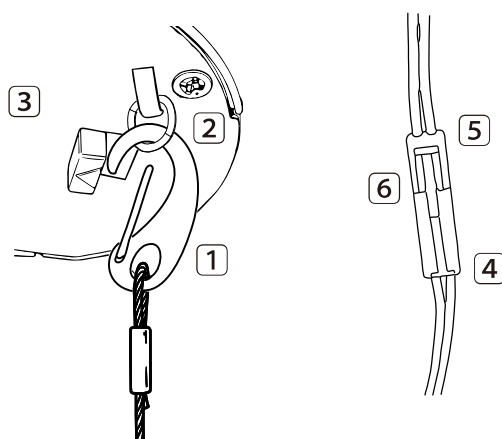
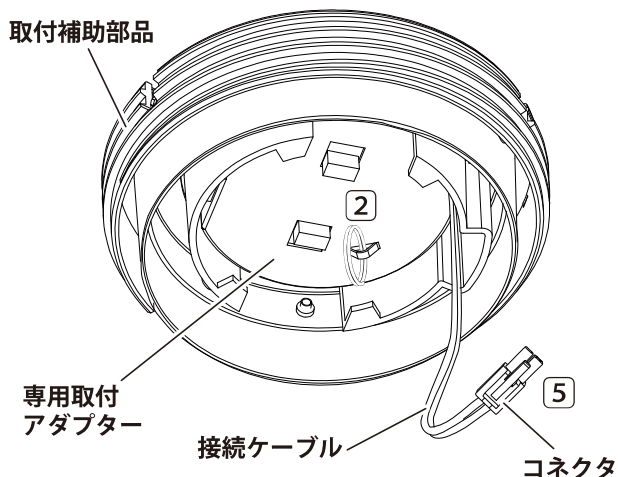
・カラビナに接続されているワイヤーは製品の落下防止用です、確実に取り付けられているか確認してください。

・コネクタの接続

5. 本体から出ているコネクタ④を天井に取り付けた専用取付アダプターから出ているコネクタ⑤と接続する⑥

・「カチッ」と音がするまで確実に取り付けます。

・取り付けてから一度軽く引っ張って、ロックがかかり抜けないことを確認してください。



・本体の取り付け

1. 横に穴①のある本体の取り付けミゾと天井に取り付けた取付補助部品の赤い丸の位置を合わせて②、本体を取付補助部品に差し込み③、右(時計)方向に最後まで回し取り付ける④



警告

本体の取り付け時に、接続ケーブルをはさまないようにする。

・本体の固定

2. 本体取り付けの準備(P.6参照)で取り外した固定ネジを取り付ける⑤



警告

固定ネジは必ず最後まで締め付けてください。本体が落下する危険があります。

・シーリングカバーの取り付け

3. シーリングカバーを押し上げ⑥、右(時計)方向に回して⑦、取付補助部品に取り付ける

・シーリングカバーの調整

4. シーリングカバーを右(時計)方向に回して⑧、配線器具が隠れ天井とのすき間⑨がなくなる程度まで上げる

- ・シーリングカバーを下げるには左(反時計)方向に回してください。
- ・シーリングカバーが天井に均一に触れる程度にすると、本体が固定され、本体の振動が抑制されます。
- ・シーリングカバーを回しすぎると天井の素材を傷つけたり、配線器具から本体を離すことになり、落下の危険性もありますので適度に調整してください。



注意

- ・シーリングカバーを回しすぎて上げすぎない。天井の傷つき、落下の原因になります。

当社サイトに取り付け方法の動画を掲載しています。

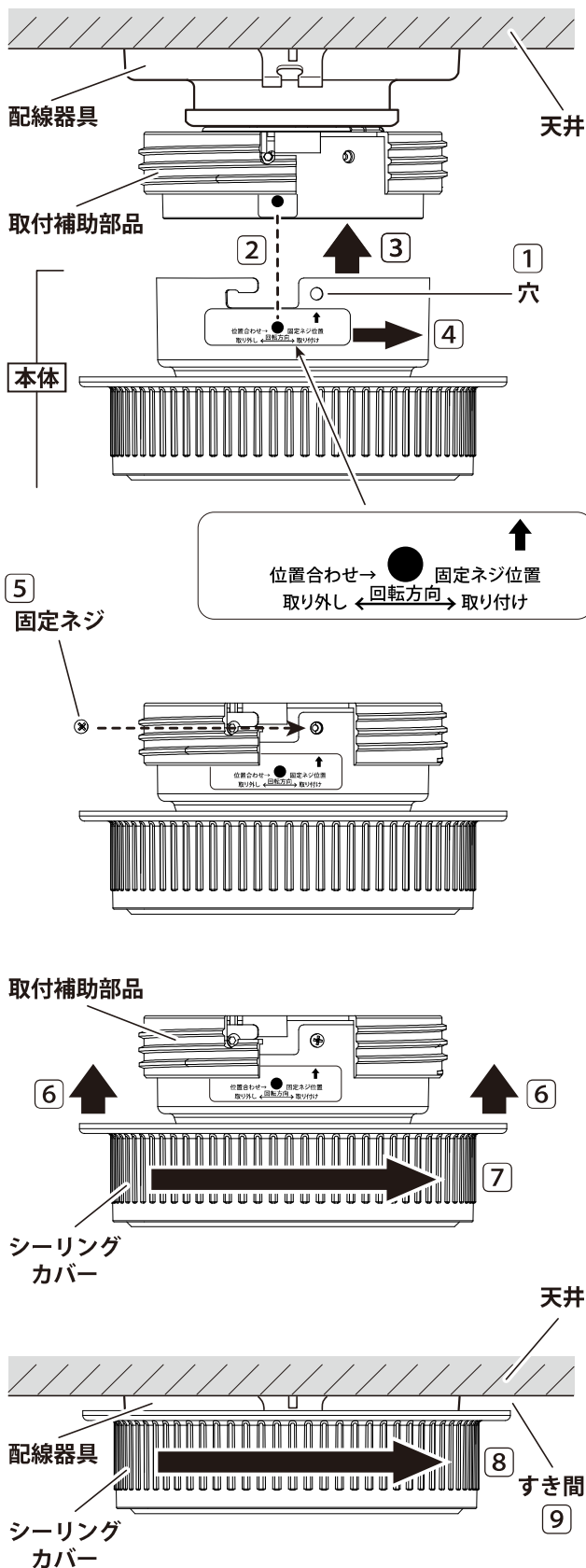
サーキュライト ウイングシリーズ：

DCC-G06CM / DCC-G08CM / DCC-G08CML

CIRCULIGHT

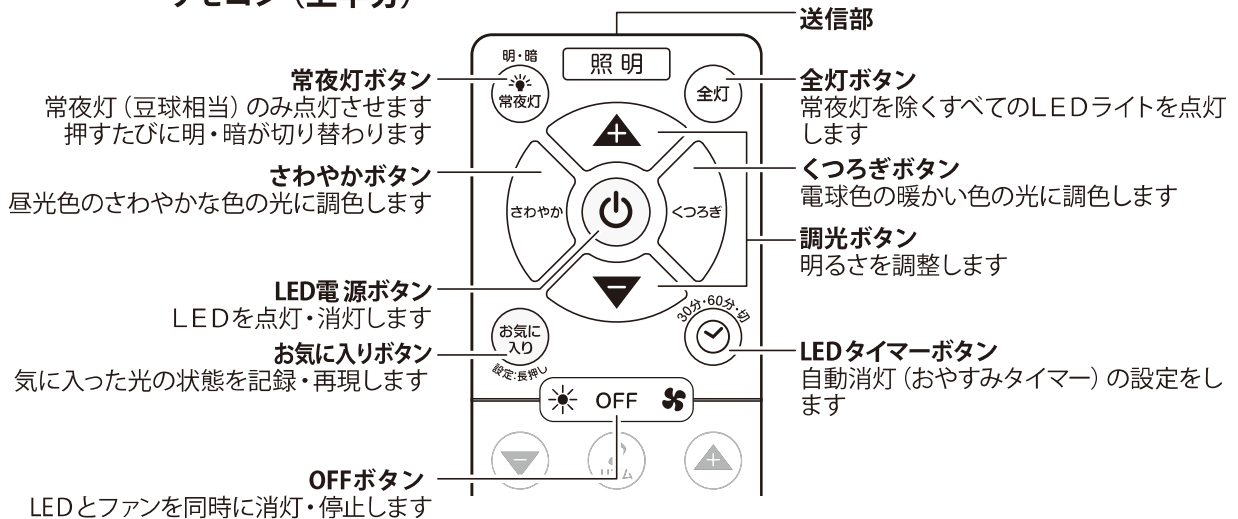
取り付け方法 HOW TO 動画

<https://circulight.com/support/>



正しい使いかた《LED》

リモコン（上半分）



LEDの点灯・消灯

1. 電源（壁スイッチなど）を入れてからリモコンの $\odot$ 全灯ボタンを押す

正常に接続されていると、調光100%で点灯します。

- 点灯しない場合、接続に問題があることがあります。電源（壁スイッチなど）を切って、以下の点を確認してください。
 - 配線器具と引掛シーリングの接続
 - 引掛シーリングと配線器具との接続を目視で確認

上記接続に問題がないことを確認してから電源（壁スイッチなど）を入れてください。

2. リモコンの $\odot$ 調光ボタン・ $\odot$ さわやか/くつろぎボタンを押して調光・調色する

$\odot$ 調光ボタン・ $\odot$ さわやか/くつろぎボタンを押すことで調光・調色します。

- $\odot$ 調光ボタンは、押すたびに少しずつ明るく（もしくは暗く）なります（7段階）。
- $\odot$ さわやか/くつろぎボタンは、さわやかボタンで昼光色のさわやかな色、くつろぎボタンで電球色の暖かい色に調色することができます（5段階）。

3. お気に入りの調光・調色をメモリーしておくときは、 $\odot$ お気に入りボタンを長押しする

$\odot$ お気に入りボタンを長押しすると、「ピピピッ」と音がしてメモリーされたことがわかります。 $\odot$ お気に入りボタンを押すとメモリーが再現されます。

4. 常夜灯を点灯するときは、 $\odot$ 常夜灯ボタンを押す

$\odot$ 常夜灯ボタンを押すと、全体のLEDが消灯し、常夜灯が点灯します。

- 常夜灯には強／弱があり、 $\odot$ 常夜灯ボタンを押すたびに強弱が切り替わります。

5. おやすみタイマーを設定する

点灯時、 $\odot$ LEDタイマーボタンを1回押すと、30分後に自動で消灯します。2回押すと、60分後に自動で消灯します。タイマーを解除するときは、もう1度押してください。

※ 解除されたとき、タイマー設定時よりも長く音が鳴ります。

おやすみタイマーの音

音のイメージ	ピッ ・	ピピッ ・・	ピー —
タイマー時間	30分	60分	解除

6. リモコンで消灯／点灯するときは、 ④LED 電源ボタンを押す

④LED電源ボタンを押すと、ファンに関係なくLEDのみ消灯／点灯をすることができます。

7. リモコンの* OFF *OFFボタンまたは壁スイッチで消灯する

* OFF *OFFボタンを押すと、壁スイッチで電源を切ったときのように、LEDとファンが同時に停止します。

- どちらかのみ電源を切る場合は、④LED電源ボタンまたは⑤ファン電源ボタンを押して電源を切ります。

壁スイッチメモリー

壁スイッチで入・切する場合、壁スイッチで切った最後の状態で点灯します(ただし、常夜灯、消灯はメモリーされず、その前の状態で点灯します)。

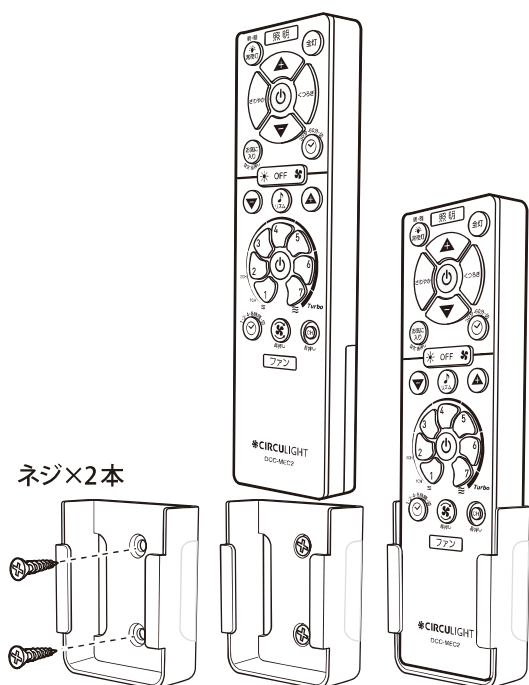
リモコンメモリー

電源ボタンで切(OFF)にした最後の状態で点灯します(ただし、常夜灯はメモリーされず、その前の状態で点灯します)。

リモコンケースを設置する

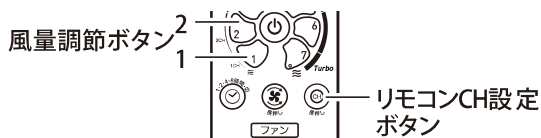
付属のリモコンケースは、リモコン反応を確認のうえ、付属のネジ2本を使用して設置してください。

※ 設置場所によってはリモコンケースに入れたまま操作しても、本製品は反応しないことがあります。



本体とリモコンのチャンネルを設定する

同じ製品が2台ある場合、本体とリモコンにチャンネルを設定することで、独立して操作することができます。電源(壁スイッチなど)を入れてから、下記の手順で本体とリモコンのチャンネル設定をしてください。



1. 本体にリモコンを向けて、④リモコンCH設定ボタンと風量調節ボタン「1」または「2」を同時に長押しする

風量調節ボタン「1」を押した場合1CH、「2」を押した場合2CHに設定されます。

「1CH」に設定した場合 (ピーピッ)

ピーと長い音に続いて短いピッ音が1回鳴ります。

「2CH」に設定した場合 (ピーピーッ)

ピーと長い音に続いて短いピッ音が2回鳴ります。

- 出荷時は、本体・リモコンともに1チャンネル(1CH)に設定してあります。
- 《リモコンのみのチャンネル設定》本体のチャンネル設定を変えたくない場合は、本体にリモコンを向けないで(送信部を手で覆う、別の部屋で)チャンネル設定をしてください。

2. 2台の器具を設置する場合の設定

2台同時に操作する場合

本体1台目、本体2台目ともに本体を同じチャンネルに設定します。

- 本体1台目を1チャンネル(1CH)、本体2台目も1チャンネル(1CH)、リモコンも1チャンネル(1CH)に合わせます。

2台別々に操作する場合(部屋別で操作させたいなど)

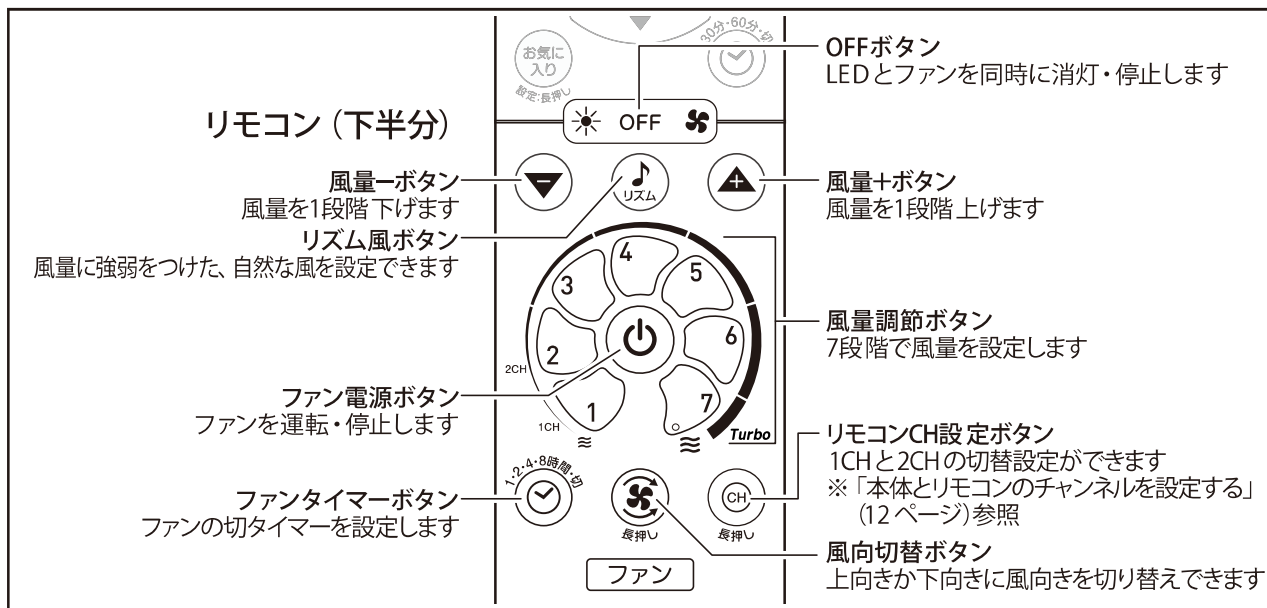
- 本体1台目は1チャンネル(1CH)、本体2台目2チャンネル(2CH)
- リモコン1台目は1チャンネル(1CH)、リモコン2台目は2チャンネル(2CH)に合わせます。

⚠注意

- 2台同じチャンネルにしても、器具間の距離やリモコン操作の方向により同時に動作しないことがあります。
- 付属のリモコンの操作に関係なく本製品の明るさが切り替わる場合は、本体とリモコンのチャンネルを変更してください。

音のイメージ	ピー ピッ — •	ピー ピピー — ..
チャンネル	1チャンネル (1CH)	2チャンネル (2CH)

正しい使いかた《ファン》



運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

リモコンの④ファン電源ボタンを押すと、ファンの運転を開始します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量で運転を開始します。
- ファンは壁スイッチで電源を切った場合、次に電源を入れた時は運転を開始しません。

2. 風量を調節する

リモコンにある7つの風量調節ボタンを押して風量を調節してください。

- 1が一番弱く、7が一番強い風になります。
- 7で **Turbo** モードが起動し、30分間最大風量で運転します。帰宅直後や空気のよどみが気になる時、短い時間でお部屋の空気をパワフルに攪拌（かくはん）します。なお、運転開始から30分経過すると、自動的に風量6へと切り替わります。

風向きが下向き風の場合、**Turbo** モードが作動します。上向き風の場合は作動しません。

- ▲風量+ボタンで風量を上げ、▼風量-ボタンで風量を下げることができます。

3. リズム風機能を作動させる

運転中にリモコンの⑤リズム風ボタンを押すと機能が切り替わります。

- ⑤リズム風ボタンを1回押すと、リズム風になり、2回押すと解除され普通の風に戻ります。

リズム風設定		
音のイメージ	ビップ ・	ピー —
リズム風	リズム風	リズム風解除

リズム風 風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。風量を切り替えることで風量パターンが変化します。

4. 切タイマーを設定する

運転中に、⑥ファンタイマーボタンを押す回数で切タイマー時間が設定されます。設定された時間に対応した音が鳴り、設定されたことがわかります。

切タイマー設定

音のイメージ	ビップ ・	ビップビップ ..	ビップビップ ピップ ...	ビップビップ ピップ	ピー —
切タイマー	約1時間	約2時間	約4時間	約8時間	解除

- 切タイマーをキャンセルするときは、⑥ファンタイマーボタンを何度か押して、ピーと音が鳴ることを確認してください。

5. リモコンの④ファン電源ボタンを押して運転を停止する

運転中にリモコンの④ファン電源ボタンを押すと、運転を停止します。

6. リモコンの[* OFF *]OFFボタンまたは壁スイッチで消灯・運転停止させる

[* OFF *]OFFボタンを押すと、壁スイッチで電源を切った時のように、LEDとファンが同時に停止します。

切り忘れ防止機能

最後に操作してから約12時間経過すると、ファンの運転が自動的に停止します。

上下の風向きを変更する

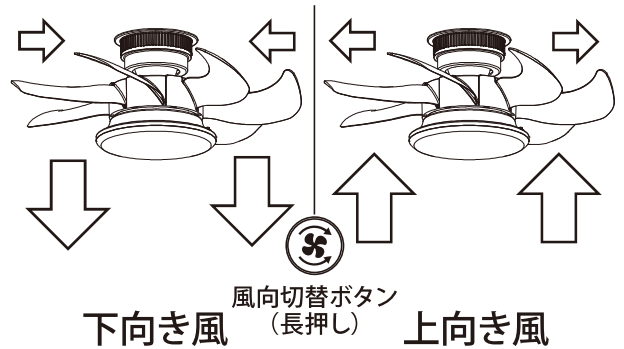
1. 風向切替ボタンで風向きを変更する

⊗ 風向切替ボタンを長押しすることでファンの風向きを変更することができます。

- **下向き風・下降** 風を下向きにすることにより、体感温度を下げるすることができます(冷房時に有効)。
- **上向き風・上昇** 風を天井に当て、高いところにある暖かい空気を下に循環させることができます(暖房時に有効)。

※一度羽根を止めるため、風向切替には少し時間がかかります。

※羽根の位置によっては、起動に5～10秒程度かかる場合がありますが故障ではありません。



お手入れと保存



警告

お手入れの際は、必ず壁スイッチを切り、配線器具からはずす。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体に水をかけて洗わないでください（感電・故障の原因になります）。

通常のお手入れ

回転部や羽根についたホコリは、すきま用ノズルなどを取り付けた掃除機などで取り除いてください。

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸して、かたくしぼった柔らかい布で拭きとり、さらに乾いた布でやさしく拭きをしてください（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります）。

本体から取り外した羽根のみ丸洗いすることができません。

配線器具からの取り外しかた

1. 壁スイッチが切になっていることを確認する
2. 組み立て・設置(P.5～P.10)を参考に逆の手順で取り外す



注意

- ・取り外し作業は、適切な脚立などを使用し、落下させないように2人以上で行う。
- ・取り外しは回しすぎないように注意する。破損・故障の原因となります。

- ・LEDライト部分を覆っているカバーは取り外すことができません。

定期的なお手入れ



警告

お手入れをするときは、必ず壁スイッチを切って、本体を取りはずして行なう。

羽根は定期的にお手入れしてください

- ・使用しているうちに風が弱くなった場合、羽根にホコリなどが付着して、風量が低下している可能性があります。

ホコリなど汚れが付いていないように見えても、風が弱くなったと感じられるときは、お手入れで改善することがあります。

保存のしかた

- ・長期間(3か月以上)設定を変更せず、リモコンを使用しないときは、電池を取りはずしておいてください。
- ・本体を取りはずして保存する場合は、お手入れをして、十分乾燥させてから、ホコリが付かないようにビニール袋などに入れて、湿気のない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
LED部		
点灯しない	電源（壁スイッチなど）が「切(OFF)」になっている	電源（壁スイッチなど）を「入(ON)」にする
	ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	引掛シーリングと配線器具が確実に接続されていない	引掛シーリングと配線器具を確実に接続する
点灯中・消灯直後など異音がある	使用環境により電源部から多少の音が発生することがあります	問題ありません
ファン部		
羽根がまわらない	電源（壁スイッチなど）が「切(OFF)」になっている	電源（壁スイッチなど）を「入(ON)」にする
	ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	引掛シーリングと配線器具が確実に接続されていない	引掛シーリングと配線器具を確実に接続する
突然運転が止まる	切り忘れ防止機能がはたらいている	リモコンの㊟ファン電源ボタンを押して運転を開始してください
	タイマーボタンを押した	リモコンの㊟ファン電源ボタンを押して運転を開始してください
異音がある	天井へ正しく取り付けられていない	天井への取り付けを再度確認する
壁スイッチでファンが動作しない	問題ありません	取付時の安全の為、壁スイッチでファンは動作しません。
共通部		
リモコンが正常に動作しない	リモコンの電池が正しく取り付けられていない	リモコンの電池を正しく入れなおす
	リモコンの電池が切れている	リモコンの電池を新しいものにする
	本体の受光部に信号が届いていない	障害物を取り除く、もしくは受信可能な範囲から操作する
	本機に向けて操作していない	本機に向けて操作する
	本体とリモコンのチャンネルが合っていない	本体とリモコンのチャンネル設定を合わせる （「本体とリモコンのチャンネルを設定する」12ページ）

修理・サービスを依頼する前に(つづき)

よくあるご質問

Q	停電復帰後に勝手に点灯してしまいます。
A	正常動作です。(壁のスイッチは「入(ON)」状態で、リモコンで「切(OFF)」にしていた場合) 通常の停電復帰時は、スイッチやリモコンを探す必要がないよう、照明が点灯した状態で復帰する設定になっています。点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、直前の点灯状態で点灯します。
Q	停電復帰後、勝手に点灯しないようにできますか。
A	壁スイッチを「切(OFF)」にしてください。照明器具側では設定できません。
Q	リモコンで電源を「切(OFF)」にしても、急に消灯しない。
A	正常動作です。本製品は急に消灯せずにゆるやかに消灯していきます。
Q	LED部またはファン部が故障しました。
A	どちらかが故障した場合は、ご使用を中止して販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源を入れても点灯しない。
- ・チカチカしたり点滅する。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、使用を中止してください。
製品の故障または寿命と考えられるため、販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行なっています。

	[製造年](本体に西暦 4 桁で表示してあります)	
	[設計上の標準使用期間](本体に表示してあります)	
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。	

(設計上の標準使用期間とは)

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件(JIS C9921-1による)

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷(風速)	
規定時間 など	運転時間	10h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	180日/年	
	スイッチ操作回数	900回/年	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。